

第72回日本ハンドボール選手権大会(男子の部) presented by KANKO

戦況票

- 大会日 2020年12月5日 (土)
- 会場: ジップアリーナ岡山 府県名(岡山県)
- デイビジョン: 男子 ○ 試合No: 22
- スコア:

豊田合成 29 $\left(\begin{array}{cc} 12 & - & 14 \\ 12 & - & 10 \\ 4 & \text{延} & 1 \\ 1 & & 3 \end{array} \right)$ 28 大同特殊鋼

- 見出し:

大熱戦を制したのは豊田合成

- 特記事項:

序盤から一進一退の攻防でゲームは進むが、6分過ぎに相手退場の隙に池辺、東江が気合いのシュートを決め、大同特殊鋼が抜け出す。その後も東江の速攻などでじわじわと引き離し、24分には5点のリードを奪う。しかし、このまま引き下がれない豊田合成は、小塩のポストや速攻で2点差まで詰め寄り、12-14と追い上げて前半を終了する。

後半に入っても、両チームGK(豊田合成・中村、大同特殊鋼・久保)が好セーブの応酬で会場を沸かす。豊田合成は後半4分過ぎに14-14の同点に追いつく。しかし、大同特殊鋼は加藤のパワフルなポストなどで4連続得点すれば、豊田合成は意地の3連続得点で拮抗した試合が続く。17分過ぎには豊田合成が1点リードすれば、大同特殊鋼もすぐさま取り返すなど両者譲らず。終盤もめまぐるしく試合は動く。残り40秒で大同特殊鋼・東江が7mスローを決めれば、残り17秒には豊田合成・古屋が同点ゴールを決めて、延長戦に突入する。

延長前半、豊田合成は古屋のカットインや趙、水町のミドルシュートで畳み掛けて3連取でリードを奪う。後半に大同特殊鋼はアグレッシブなディフェンスからボールを奪い、吉田、小澤の連続得点で追いあげるが、豊田合成が残り50秒を必死で守り抜き、僅差で涙を飲んだ。

(記入者氏名: 津島 正司)